

平成28年度（第6事業年度）

事業報告及び附属明細書

自 平成28年 4月 1日

至 平成29年 3月31日

公益財団法人 日本女性学習財団

I. 公益目的事業

生涯学習の振興及び活性化支援事業

平成 28 年度は、本財団の目的である「男女共同参画社会の形成に資する生涯学習及び次世代育成の振興に寄与する」事業の円滑なる進展を図るため、国内外の動向を踏まえた最新の情報提供に努めるとともに、事業領域・内容の工夫、広報活動の強化、関係機関・団体との協力連携を通し、当面する諸課題について各学習事業、管理運営、その他の事務を遂行した。

特に、今年度は財団設立 75 周年を迎えたのを機に、今後の 5～10 年を展望して作成した財団中期ビジョンに沿って、財団の目的を継続的に果たすことができるよう基盤を強化した。

1. 研究調査

(1) 防災・減災に関する調査研究

趣旨：男女共同参画と災害・復興ネットワーク（代表：堂本暁子）と協働で事業を行うと共に、ホームページ上で防災・減災とジェンダーに関する情報を発信した。

内容：①シンポジウム「女性の力で変革を～3.11 から 5 年、忘れない・つながる・動く～」

日時：6 月 11 日

参加者：118 人

会場：港区立男女平等参画センター

主催：男女共同参画と災害・復興ネットワーク / (公財) 日本女性学習財団

共催：港区立男女平等参画センター

協力：防災・減災日本 CSO ネットワーク

後援：内閣府政策統括官（防災担当） / 内閣府男女共同参画局

② 財団HPの「防災・減災とジェンダー」を 8 月にリニューアルした。

(2) 女性の教育・学習活動史研究

内容：平成 28 年度の「日本女性学習財団賞」レポート募集は休止とし、財団 75 周年を 1 つの区切りとしてリニューアルするために検討を重ね、平成 29 年度より「日本女性学習財団 未来大賞」としてレポート募集を再開することになった。

2. 人財育成事業

(1) 公益財団法人日本女性学習財団認定キャリア形成支援士養成

趣旨：働く女性・働きたい女性をサポートする方を「キャリア形成支援士」として認定するための養成講座を実施した。また、「キャリア人財プラットフォーム」を基盤として、この核となる「キャリア形成支援士」の交流と活動を支援した。

内容：① (公財) 日本女性学習財団キャリア形成支援士認定 (第 4 期)

日時：7 月 3 日

講師：福沢恵子、村松泰子

認定者：32 人

② 支援士交流会

第1回 日時：7月16日

参加者：12人

第2回 日時：平成29年2月25日

参加者：6人 会場：京都光華女子大学

*第3回ブラッシュアップ講座時に開催

③ 支援士ブラッシュアップ講座

第1回 日時：9月3日

参加者：17人

テーマ：「女性×活動＝変革！ユースの声から学ぶ「ソーシャル・イノベーション」への仕掛け」

講師：服部篤子

登壇者：秋本可愛、草野由貴、櫻井彩乃、白谷素子

第2回 日時：1月21日

参加者：16人

テーマ：「選ばれる人になるための『パーソナルブランド』講座」

講師：坪田秀子

第3回 日時：平成29年2月25日

参加者：21人 会場：京都光華女子大学

テーマ：「大学での女子学生へのキャリア形成支援を考える」

講師：加藤千恵

共催：京都光華女子大学

④ 支援士企画協働事業

応募企画 4件、採用企画 4件（内1件は平成29年度実施予定）

第1回 日時：10月30日

会場：テクノプラザおおた（群馬県太田市）

参加者：37人

テーマ：「これからの女性の生き方・働き方を考えるシンポジウム『キャリア形成とテレワーク』」

企画：大橋志帆（第2期）

講師：柳澤佳子ほか

協働先：おおたテレワーク推進協議会

後援：上毛新聞社

第2回 日時：12月18日

会場：ハーブガーデンカフェ（文京区）

参加者：14人

テーマ：「花を咲かせるのはシニアからーカフェ起業家に学ぶ“夢を形にする”ヒント」

講師：遠藤雅子（第2期）、小尾順子ほか

協働先：遠藤雅子&楊帆

第3回 日時：平成29年2月11日

参加者：9人

テーマ：「ミドルからの大学院進学セミナー 大人のキャリアを考
える」

講師：犬塚典子（第3期）、遠藤雅子（第2期）ほか

協働先：アカデミックキャリア・プロジェクト

⑤ 支援士企画プロジェクト

a. 女性エンカレッジプロジェクト

第1回（キックオフ）11月6日 参加者：13人

第2回 平成29年3月5日 参加者：11人

b. キャリア形成支援士ラーニング・ラボ

第1回 日時：11月23日 参加者：6人

テーマ：「職場内の意識改革—いかに進めていくか」

第2回 日時：3月5日 参加者：10人

テーマ：「中高年女性へのキャリア支援—人生100年時代、いかに
生きるか」

⑥ 支援士認定更新講座（第1期）

日時：平成29年2月12日

対象：第1期支援士

更新申請者：15人

講師：中村 香、村松泰子

3. 情報提供

(1) 月刊「We learn」発行

趣旨：男女共同参画の普及啓発のための専門情報誌として女性の生涯学習及び次世代育成の全国的・国際的な課題を明らかにし、研究及び実践事例に関する情報を収集・提供する。今年度は、キャリア形成支援士関連の誌面を増やす他、女性のキャリア形成支援に役立つ情報を提供した。

① 総発行部数 13,200部 (1,200部/月、年11回発行)

② 販売部数 4,333部 贈呈・交換部数 3,355部 事業配布 1,000部

③ 特集テーマ

平成28年4月号	未来をひらく学び
5月号	働きやすい社会をめざして
6月号	議会は女性にひらかれているか？
7月号	インクルーシブ社会へのアプローチ
8月号	からだ・健康・スポーツ
9月号	ケア社会の一步先へ
10月号	持続可能な社会と女性・女兒のエンパワーメント
11・12月号	ユース女性×活動=変革！
平成29年1月号	経済とジェンダー
2月号	女性たちの足跡から学び合う
3月号	減災・環境・ジェンダー

(2) パネル等普及啓発資料の作成・普及

① パネルの貸出

貸出件数：8件 購入件数：1件

貸出先	兵庫県三木市男女共同参画センター、佐賀県多久市役所、沖縄県嘉手納町役場、国立研究開発法人森林総合研究所、徳島県立人権教育啓発推進センター、千葉県浦安市男女共同参画センター、埼玉県鶴ヶ島市（2回）
購入先	長野県立男女共同参画センター

② 東京ウィメンズプラザフォーラムへの展示参加

11月6日、7日開催の東京ウィメンズプラザフォーラムにて財団紹介パネル展示を実施

(3) 資料の整備・情報公開

① ホームページによる情報提供

当財団の事業については、適宜事業案内・報告を財団ホームページに掲載し、その内容を公開した。また、フェイスブックを用いて、タイムリーな情報提供に努めた。

ホームページアクセス数：平成28年度123,868件(前年度137,273件)

*本年度よりグーグルアナリティクスによる集計に変更

② ぶっく・とーくの開催

第15回 日時：10月23日 参加者：18人

話し手：辻智子（『繊維女性労働者の生活記録運動』）

平井和子（『日本占領とジェンダー』）

コーディネーター：村松泰子

4. 関係諸団体との連携支援

女子会館内団体との情報交換を行った他、国際婦人年連絡会・全国女性会館協議会・社会教育団体振興協議会、男女共同参画と災害・復興ネットワーク等に加え・連携して、全国的・国際的な活動に参画・参加するとともに、全国各地からの要望に応じて連携・支援を行った。

(1) 他団体との連携・支援事業

① 講座等の開催

a. 講演会「ライブラリアンの専門性とキャリアーオランダ・アトリアの経験から学ぶ」

日時：5月14日

会場：東京大学史料編纂所大会議室

参加者：27人

共催：図書館員のキャリア研究フォーラム

協力：東京大学附属図書館

b. 『こども支援士』認証講座（アフタースクール）

日時：平成29年1月21日～2月5日

参加者：14人

共催：NPO法人東京学芸大こども未来研究所

② 関連団体の会議への参加

a. NPO法人全国女性会館協議会：総会出席（学習事業係長・主任）、

「女性の学び応援フェスタ in TOKYO」のポスターセッション参加

日時：平成29年2月19日（理事長・学習事業課長）

会場：東京ウィメンズプラザ

- b. 国際婦人年連絡会：総会、全体会他（学習事業課長）
- c. 社会教育団体振興協議会：総会、幹事会他（常務理事）
- d. 男女共同参画と災害・復興ネットワーク 運営委員会（理事長）

③ 団体、自治体、大学への職員等派遣

6月11日 世田谷区男女共同参画センター「平成28年度区民企画協働事業」
審査会審査委員（学習事業課長）

6月29日 国立市公民館「女性の生き方を考える講座」講師（学習事業係長）

10月18日 江東区「第24期パルカレッジ」講師（理事長）

平成29年1月26日 江東区「男女共同参画活動登録団体学習会」講師（理事長）

平成29年3月3日（独）国立女性教育会館 女性教育情報センター資料収集
委員（学習事業課長）

④ 社会教育実習生の受入

8月～10月 立教大学より受入

(2)生涯学習等公益事業を行う非営利団体に活動拠点を提供し支援する事業

生涯学習や男女共同参画社会の発展のため活動している団体支援事業として日本女子会館の施設を低料金で賃貸している。平成28年度は6団体に支援しており、その内1件館内移転縮小があり期首より6坪減少し、期末では約210坪となっている。

対象団体と面積は以下のとおりである。

	テナント名	階	坪
1	公益社団法人 長寿社会文化協会	1階	45.29
2	特定非営利活動法人 全国女性会館協議会	1階	5.73
3	一般社団法人 農山漁村女性・生活活動支援協会	4階	12.39
4	特定非営利活動法人 市民福祉団体全国協議会	4階	22.89
5	公益財団法人 さわやか福祉財団	7階	109.76
6	一般社団法人 国際女性教育振興会	8階	14.09
	計		210.17

(3) シェアオフィス・バーチャルオフィス運営「オフィス We learn」

趣旨：現在女性が起業するにあたって、活動拠点となるオフィスの確保が障壁の一つとなっており、女性専用シェアオフィス・バーチャルオフィスを設置することで女性の自立を支援する。日本女子会館の新しい事業形態の構築を目指す実験プログラム。

対象：起業を目指す女性、都心に事務所を必要としている女性起業家等、働く女性及び女性が代表を務める法人

会員種別：正会員、法人会員、デイリー会員、イブニング会員、バーチャル会員

定員：30人

現在会員数：13件 正会員；1名、法人会員；3団体、デイリー会員；7名、
バーチャル会員；2名

*法人会員2件に対して、施設内の個室使用許諾の契約を結んでいる。

II. 収益事業

平成 28 年度の収益事業収入は 107,496,957 円、経常費用は 46,719,619 円であり、収益事業の損益は 60,777,338 円となり、前年度損益と比較し 2,404,808 円のプラスであった。

公益目的事業会計、法人会計を含む全体の経常損益は、収入：144,635,239 円、費用：131,567,130 円、損益：13,068,109 円となり、前年度損益と比較し 1,820,774 円のプラスであった。今後、修繕費の増加が予想されるので、引き続き次年度へ向けて、備品消耗品等の日常経費、ビル事業の諸経費等の削減を進めていく。

なお、費用支出総額のうち公益目的事業の占める割合は 57.56%で、50%を超えているため公益財団法人としての基準を満たしている。

1. 日本女子会館建物の賃貸事業

(1) 入居テナント状況

期首に満室であったが、平成 28 年 4 月 1 日に 4 階テナントの館内同床移転による 16.46 坪(共用部按分込み)の空室が生じたが、6 月に新テナントの契約が開始し、その後は満室を維持している。

平成 28 年 4 月 1 日に館内同床移転したテナントとの新契約は定期建物賃貸借契約としたが、同テナントは平成 29 年 3 月 31 日をもって解散し、清算業務を行う期間として平成 29 年 6 月 30 日に賃貸借契約終了となる。

(2) 契約更新・再契約状況

既存テナントについての賃料改定協議は、2 件について調停申立を行い現在継続中である。この 2 件以外は、公益事業対象の 6 団体を除きすべて新賃料となっている。

尚、平成 29 年 5 月 31 日に 4 階テナント 1 件との定期建物賃貸借契約が終了するが、同室は 6 月 1 日より新テナントの入居が決定している。

2. 日本女子会館の維持経営

(1) 日本女子会館建物の維持管理

建物の老朽化に対して計画的に修繕、更新を進めている。平成 28 年度も継続して、老朽化に起因する人的に被害をもたらす恐れのある改修・更新を最優先事項とする対応を行った。

空調設備は、設置後 20 年を目安に運転状況をふまえて更新について判断を行っており、平成 28 年度は 4 階、5 階、7 階の一部について更新した。

水廻りの設備、器具・機械については、経年による劣化・腐食等による作動不良や漏水の発生が現実になり始めている。今後、より具体的な修繕・更新計画の立案を行い事故防止に努める。

平成 28 年度の主な修繕・更新工事は、空調機器修繕、電力量計及び高圧真空遮断器の更新、地階冷蔵室天井更新、洗面所床張替、汚水槽内排水ポンプフロートスイッチ更新、その他各種修繕工事を含め 27 件の手配を行い、修繕費約 450 万円支出した。

建物附属設備の更新(取得)として、4・5・7 階空調機器の更新、自動火災報知器主装置の更新、エレベーターの防災対策工事、外壁換気口フードの新設、貸室配電盤の新設を行い、建物設備更新積立資金から約 1,150 万円取り崩した。

(2) (新)日本女子会館ビル調査検討のためのワーキンググループ

平成 24 年 8 月 30 日に第 1 回委員会開催後、平成 28 年度は 4 月、2 月に開催した。事業スキームについて検討を行った。コンサルと事務局とによる検討資料の作成準備期間を設けたため、2 回の開催となった。

Ⅲ. 管理部門

1. 賛助会員

平成 28 年度末における会員状況は、以下のとおり。

個人会員数：25 (27 口) 法人会員数：0

2. 理事会

開催日/場所	議題・報告事項	審議結果
第 1 回理事会 平成 28 年 5 月 23 日 日本女子会館	議題 (1)平成 27 年度事業報告書(案)について (2)平成 27 年度収支決算書(案)について (3)任期満了の伴う理事候補者を評議員会に提案することについて (4)平成 28 年度定時評議員会の日程及び議案について 報告事項 (1)(新)日本女子会館ビル調査検討のためのワーキンググループについて	可決承認 可決承認 可決承認 可決承認
平成 28 年 6 月 9 日 書面による同意	提案(提案者：業務執行理事 藤井俊一) (1)村松泰子を代表理事に選任する	承認決議
第 2 回理事会 平成 28 年 10 月 4 日 日本女子会館	議題 (1)平成 28 年度上半期事業の実施状況について 報告事項 (1)(新)日本女子会館ビル調査検討のためのワーキンググループについて	可決承認
第 3 回理事会 平成 29 年 3 月 13 日 日本女子会館	議題 (1)平成 29 年度事業計画(案)について (2)平成 29 年度収支予算書(案)について (3)建物設備更新積立額の変更について (4)規則規程の改定について 報告事項 (1)平成 28 年度下半期の事業進捗について (2)(新)日本女子会館ビル調査検討のためのワーキンググループについて	可決承認 可決承認 可決承認 可決承認

2. 評議員会

開催日/場所	議 題	審議結果
定時評議員会 平成 28 年 6 月 9 日 日本女子会館	議題 (1)平成 27 年度事業報告及び決算書の承認について (2)理事の任期満了につき改選について 報告事項 (1)平成 28 年度事業計画及び収支予算書について (2)(新)日本女子会館ビル調査検討のためのワーキンググループの審議概要	可決承認 可決承認

事業報告の附属明細書

平成 28 年度事業報告には、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、定款第 11 条(2)に規定する事業報告の附属明細書は作成しない。